

2023年

募集概要

JASPOがん研究助成事業

2023年7月

一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会

1. はじめに.....	3
2. 応募資格.....	3
3. 応募期限.....	4
4. 応募方法.....	4
5. 助成内容.....	4
6. スケジュール.....	5
7. 注意事項.....	5

1. はじめに

日本臨床腫瘍薬学会（以下、JASPO）は、病院、薬局、大学、製薬企業に所属する薬剤師やがん関連領域に関わるすべての人々が連携協力し合うとともに、がん薬物療法に関する学術研究の推進科学的根拠のあるがん薬物療法の開発・普及により、最善の治療効果の実現、副作用の軽減、重篤な健康被害の未然防止を図り、がん医療の発展や公衆衛生の向上に寄与することを目的とした学会です。我々は、がん領域の学術団体として、よりよいがん医療の実現のため薬剤師による臨床研究を推進しています。

2020年9月に施行された改正医薬品医療機器等法では、薬剤師は調剤時のみならず、薬剤の使用期間を通じて患者の服薬状況の把握や薬学的知見に基づく指導を行う義務があることが明確にされました。がん薬物療法は、副作用が起こる可能性が高いことから、服薬期間中の細やかなフォローアップによる患者支援は非常に有益であり、チーム医療の中で薬剤師の果たす役割は重要です。2015年に公表された「患者のための薬局ビジョン」では、がんやHIV、難病患者に対しての「高度薬学管理機能」として、専門的な薬物療法が提供可能な薬局体制の構築が求められ、社会からの薬局薬剤師への期待も高いと考えられます。

日々進歩するがん治療において、質の高い医療を提供するためには、新たなエビデンスの創出が求められます。現存するエビデンスに基づき臨床実践する過程で新たな疑問（クリニカルクエスション）が生まれ、それを解決することで新たなエビデンスの創出に繋がります。現在、医療現場で問題とされているタスクシフト、抗がん薬の安全情報に関する問題、超高齢化社会における薬剤関連問題など、解決しなければならない課題は多岐に渡ります。また、社会全体としては、情報社会とされるSociety 4.0から新たな社会を産み出すSociety 5.0へと進み、医療の世界でも薬剤師を中心とした情報技術を活用した先駆的な医療DX (Digital transformation) の開発も必要とされています。

JASPOでは、上記のような現状を踏まえ、がん領域におけるクリニカルクエスションを解決するための研究や薬剤師の未来を切り拓く研究などに研究助成を行っています。臨床経験豊富な病院薬剤師だけでなく、若手薬剤師や保険薬局薬剤師の研究者からの積極的な応募も期待しています。

2. 応募資格

- ・ 研究代表者が JASPO の正会員であること。
- ・ 所属長もしくは上司からの推薦を得られること。（自身が所属施設の責任者の場合は、研究指導者の推薦で構わない）
- ・ よりよいがん医療の実現に対して熱い思いで取り組んでいること。
- ・ 職種は問わないが、研究実施者に実地医療に携わる薬剤師（病院薬剤師もしくは、保険薬局薬剤師）を1名以上含むこと。
- ・ これまでに研究代表者として、財団法人や各省庁、市町村等が実施する研究助成を

受けたことがないこと。なお研究代表者以外（研究分担者*、研究協力者*など）の経験は問わない。

*研究分担者とは、研究計画書において研究代表者と研究項目を分担する者として記載された者。また、研究代表者の研究開発構想を実現する上で必要な分担研究を担う研究者。研究協力者とは、研究代表者及び研究分担者の責任の下、研究組織の一員として研究計画に参画する研究者等

3. 応募期限

2023年10月2日（月）正午（時間厳守）

4. 応募方法

2023年 JASPO がん研究助成申請書を「一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会 研究助成事業 2022年 JASPO がん研究助成 募集のお知らせ」の Web ページ (<https://jaspo-oncology.org/other/research/>) よりダウンロードし、必要事項を記入のうえ、ワードファイルで、JASPO 事務局 (jaspo@mynavi.jp) へメール添付にてご提出ください。メールタイトルに【JASPO がん研究助成】とご記載ください。

5. 助成内容

1) 採択課題予定件数：最大 2 件まで

2) 助成金額：1 件につき 20 万円以内（間接経費含む）

ただし対象となる経費は研究に直接必要となる次の経費の一部または全部とします。

(1) 設備備品費

(2) 消耗品費

(3) 借料、損料

(4) 資料費

(5) 印刷費

(6) 旅費

(7) 研究協力謝金

(8) 通信・運搬費

(9) その他研究に直接必要と認める経費

*研究に関係しない費用（飲食費、懇親会費等）は含まれません

3) 助成金執行について

研究が採択された場合、研究期間中の助成金は一括して交付されます。研究者は、採択後に事務局より送付される「研究助成金の交付について」に従って執行してください。

助成期間：2024年1月から2025年12月迄の2年間とする

6. スケジュール

- ◇ 募集開始：2023年7月31日（月）
- ◇ 募集〆切：2023年10月2日（月）正午（時間厳守）
- ◇ 書類選考*：2023年10月3日～10月下旬
- ◇ 採択課題の決定；11月下旬（予定）
- ◇ 実績報告書の提出：2026年2月までに実績報告書の提出

*実地医療に対する研究の有用性、将来性、実現の可能性、応募者の熱意等を勘案し、臨床研究委員会にて書類選考、検討後、理事会にて決定します。

7. 注意事項

- 1) 研究に必要とされる倫理的事項について、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」や「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン」等を遵守し、所属先倫理委員会で承認を得る等、研究に際して個人情報保護や倫理面での必要な配慮を行ってください。
- 2) 倫理面での配慮に関しては「自己申告による自己責任」が原則です。所属施設での基準とも合わせご判断いただくようお願いいたします。
- 3) 本事業により、研究助成を受けた課題については、当学会HPにて課題名、助成金額、代表研究者および所属施設を公表するものとします。

【応募に関するご相談・問合せ先】

日本臨床腫瘍薬学会事務局

(jaspo@mynavi.jp)